

原作並脚色者  
監督者  
撮影者

376

小國 比沙志氏  
森本 登良男氏  
立花 幹也氏

小國森本比沙志氏

主要役割

主要役割

三三

大野平九郎  
阪東右田之助  
山下登子

市川百之助氏  
阪東右田之助氏  
山下登子娘

說——妖事

二  
三  
四

山下 淑子婦

筋——當時江戸市中を横行し人々から嫌はれる毛虫の勘定と悪浪人の大野平九郎とは今ある女嫁摸とは知らす彼女の頭の簪を抜きござるものにせうと裏をこねぬして西面に入り作した時代劇である。

行し人々から嫌は  
の大野平九郎とは、  
を緋牡丹お芳と異名  
女の頭の簪を抜き、  
東した。所炳二人

に割り込んだ

卷之三

早耳の藤吉もそ

仲間入りしなることになった。かくてお芳の簪をめぐつて三人の男の争ひは續けられ遂にお芳を得たのは藤吉じつはった。懸に破れた大野と勘造は藤吉とお芳を襲つたが再び炎災組の首領新之助に懲まさされ遂にその刃に仕された。新之助はお芳を改心させて藤吉等を逃がし自分は迫り

眞 寫  
「慈の簪」帝キト百々之助森本登良夫氏  
作品。中央の主演者の市川百々之助氏



来る捕手を追ひ拂ひ落ちゆく二人の上に満足な微笑を送るのであつた。